

## 日本気象学会昭和63年度秋季大会の告示

1. 期 日 昭和63年10月26日(水)～28日(金)
2. 会 場 宮城県民会館  
仙台市国分町3丁目 3-7  
(電話 022-225-8641)
3. 研究発表
  - 1) 発表は口頭発表またはポスター・セッションによって行う。その選択は講演者の希望による。なお口頭発表の中には「スペシャル・セッション」(311ページ参照)が含まれる。
  - 2) 口頭発表の講演時間は討論を含めて12分程度以内である。ポスター・セッションは「ポスター・セッションの方法」による。
4. 講演申し込み方法
  - 1) 本号挿入の申し込み用紙に記入し、予稿集原稿を添えて申し込む。ポスター・セッションの講演者も予稿集原稿を提出する。詳細は345ページの「講演予稿集原稿の書き方」をごらん下さい。
  - 2) あて先：〒305 茨城県つくば市長峰1-1  
気象研究所 予報研究部内  
講演企画委員会(藤部文昭)
  - 3) 期限：63年8月18日(木) 必着
5. シンポジウム  
テーマは「雲と放射」

### ポスター・セッションの方法

1. 大会第1日の午後4時頃より概要紹介を行い、引き続きポスターの前で説明を行う。なおポスター・セッションによる申込みが多い場合は、大会第2日午前11時頃より2回目のポスター・セッションを行う。
2. ポスター・セッションは30分～1時間でこの間は口頭発表は休憩とする。
3. 概要紹介は直前の口頭発表のセッション(3会場のいずれか一つを講演企画委員会で指定する)で講演者自身が行う。時間は2分間でOHPまたはスライドを1枚だけ用いることができる。
4. 講演者は概要紹介のあと、ポスターの前で説明を行う。
5. ポスターは事務局の指定した場所に掲示する。なお、掲示板に余裕があれば大会期間3日間を通じて掲示することもできる。
6. ポスターの掲示および撤去は講演者自身が行う。なお掲示に必要な紙またはテープは事務局で用意する。
7. 掲示板は90cm(縦)×180cm(横)である。ただし、ポスターは大きな紙一枚に書く必要はない。例えば、B4サイズの紙に分けて描き、当日掲示板に並べてもよい。
8. ポスターには講演題目と講演者名を明記する。文字や図は2～3m離れても、はっきり分かるように書く。

### 講演企画委員会からのお知らせ—研究会活動への援助について

講演企画委員会では、大会期間中またはその直前・直後に会員が自主的に運営する研究会活動に対し、一般の会員が自由に参加できることを条件として、可能な援助をします。具体的には、大会プログラム等への掲示、講師を呼ぶ場合の報酬・交通費などの資金、会場・機器の手配、時間の調整などが考えられます。支援を希望する方は、下記の事項を明記の上、講演企画委員会へ申し込

んで下さい。

申込先・申込期限：大会講演と同じ

- 記入事項
1. 会の名称とテーマ
  2. 代表者の連絡先
  3. 希望日時・開催場所
  4. 予想参加人数
  5. 希望とする支援内容